

□□ _____ □□

1. 今月NPO認定自費出版アドバイザー試験の1級と2級の採点が行われます。
(担当：アドバイザー試験委員会)
2. 9月7日（水）に吉祥寺東急REIホテルにて第25回日本自費出版文化賞最終選考会と受賞作品の記者発表が行われます。
(JaGra会長、JSN役員等)
3. 11月12日（土）に「2022日本自費出版フェスティバル」がアルカディア市ヶ谷にて開催され、自費出版文化賞や認定アドバイザーの表彰式が行われます。
(JSN会員)

□□ _____ □□

2. お知らせ …後日ボランティアを募集

□□ _____ □□

全国的にコロナ感染が続いていますが、その頃はコロナが収まりつつあるだろうという推測で、11月12日（土）の「2022日本自費出版フェスティバル」は開催する予定で準備に入りつつあります。開催となれば3年ぶりとなりますが、コロナ対策など、今まで以上のスタッフが必要になります。後日開催決定になりましたら、当日ボランティアを募集しますのでよろしくご願ひいたします。

□□ _____ □□

3. お知らせ …文学フリマ大阪が9/25開催

□□ _____ □□

第十回文学フリマ大阪が2022年9月25日（日）大阪の天満橋（大阪マーチャンダイズ・マート/OMMビル）で開催されます。会場には個人会員の富部久さんが、A05-06のスペースで自著とともに日本自費出版ネットワークと自費出版アドバイザーのパンフレットを置いて宣伝していただけるとのことです。関西の方で見学を兼ねて激励やお手伝いをしていただければと思っています。
<https://bunfree.net/event/osaka10/>

□□ _____ □□

4. 自費出版事情 … ～会員便り～ No.57

□□ _____ □□

鳥取県米子市の今井印刷株式会社の島秀佳と申します。当社は、創業者が明治5年に書店を開業後、書店の隣に活版印刷所を開設したのが明治17年のことでした。現在、印刷会社と書店の両方を経営しているというのは全国でも珍しい存在になっているのかもしれませんが。

鳥取県、島根県での自費出版も長年おこなっており、3年前には富士フィルムのデジタル印刷機JetPressを導入し、高精細でありながら少部数での出版希望に対応する等努力もしておりますが、お客様に喜んでいただける提案をし続けるためには常に勉強し続けなければならないと考え、昨年日本自費出版ネットワークに入会させていただきました。今年の自費出版アドバイザー試験にも私含め5名が受験させていただいております。

コロナ禍で、まだ皆様方にご挨拶できておりませんが、今後全国大会等でご指導いただければと思っております。

山陰にお越しの際は、ぜひ当社にもお立ち寄りください。

今井印刷株式会社
島 秀佳

□□ _____ □□

☆ 知っとこ旭川 その4

□□ _____ □□

旭川の発展は軍隊、開拓（農業）、流通（商業）にあると私は思っています。軍隊は明治末期に鉄道と共に札幌から移転してきた北方警備の第七師団がありました。近くには北門とか北鎮の名が付いた学校があります。日露戦争で名を上げましたが、太平洋戦争で中国から南方へ移動し、終戦時残った部隊は帯広に移転しました。沖縄戦での戦没者で北海道出身者が非常に多いとのことは、関連があるかもしれません。戦後は陸上自衛隊の第2師団が置かれています。

流通については北海道の真ん中といっても道北や道東への流通が中心です。山海の幸は一旦旭川の市場に集まり、それから全道の消費者に分散したといえます。だから、旭川は海から離れているのに海のものも新鮮なのだと、旭川で一番大きな卸売市場の社長が自慢していました。ただ、最近は大手スーパーが市場を通さず直接購入直送してしまうということで、嘆いておりました。

旭川は繊維流通の町でもありました。駅の近くには人形町の一隅のような繊維問屋街が残っており、往事の名残を感じます。道北道東の洋品店に卸していたものと思います。地方の洋品店が営業を停止していく中、旭川の繊維問屋街も落ち着いたものになっています。

農業にも流通（運送）が欠かせません。旭川駅の周辺には日通や地元の大きな倉庫が建ち並び、往事は肥料や作物を載せた馬車が行き交っていたものと思われます。旭川に働きに来て、馬車と馬を手に入れ日通の社員になるのが夢で、それを果たしたら、自動車の時代になり、トラックを買うことになったとある人が回想していました。

旭川は家具の町としても知る人ぞ知る町です。従来の嫁入り家具のような重厚なものではなく、シンプルなデザインの家具が多く製作されています。中には輸出を目指して製作している工場もあります。若い頃アップル社にテーブルや椅子を納品したと目を細めている方もいます。背景の山々に自生する木材を活用して産業が生まれたということもあります。珍しく内陸に日本製紙の工場があるのもそのせいでしょう。しかしある人は木工は軍隊のために発達したといえます。当時ベッドで寝るのは軍人だけと仰るのです。そして、味噌、醤油、酒という産業も軍隊の需要で伸展したのだろうと推測しています。

全国にさきがけて設置した恒久歩行者天国「平和通買物公園」は50年前、多いに注目さ

れましたが、
平和通と改名される前は師団通と呼ばれ、旭川駅から師団まで通った通りということ
す。旭川がかつて軍都であったことを抜きには語れません。

株式会社あいわプリント
渡

辺 辰美

★あとがき

会員だよりにご寄稿いただいた今井印刷さまは昨年末ご入会いただきました。
印刷会社の隣で書店も経営されているなんて、とても興味深いですね。
全国大会にはぜひお越しください。

「知っところ旭川」を読んで改めて旭川の街を見てみたいと思いました。
歴史があって現在の姿を理解するのは大切なことですね。

旭川の前に、2022日本自費出版フェスティバルが近づいてきました。
そして間もなく文化賞の受賞作品の発表です。
今年はどんな作品が選ばれるか…
楽しみですね。

最後までお読みくださりありがとうございました。

お気づきの点、掲載情報、はたまた私への激励のお言葉がございましたら
yumi@maruwanet.co.jp まで、お願いいたします。

◆日本自費出版ネットワーク事務局
〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町7-16 ニッケイビル7階
電話：03-5623-5411
FAX：03-5623-5473

<http://www.jsjapan.net/>
